～土壌分析を行うにあたって～

土壌分析のサンプルのとり方

１．採土の時期

水稲：採土は「荒おこし～代かき前」の圃場がやや乾き気味の時に採土して下さい。

園芸：作物収穫後、後作の耕起前、施肥前に採土して下さい。

２．採土の方法

○水稲：圃場の左右から５～１０メートルはなれた３～５地点から、出来るだけゴミ（稲ワラ等）が入らないように、５～１０㎝の深さから均一に採土して下さい。

○露地：表面のゴミを取り除き、１５㎝程度の深さから、均一に採土して下さい。マルチ等の場合は表面の土は入れないで下さい。

○ハウス：定植床になるところで、耕起・砕土が行われた均一なものを採土して下さい。作物のあるときは、施肥部分をさけて、株間から採土して下さい。

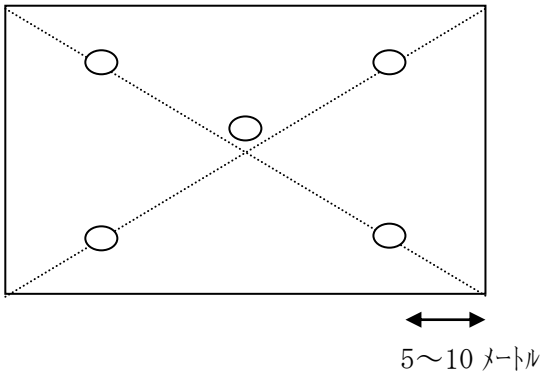
３．調整

圃場全体を１サンプルとして、採土した土壌をよく乾かした後混ぜ、200～300ｇ位をビニール袋に入れ、袋に氏名、圃場を記入してください

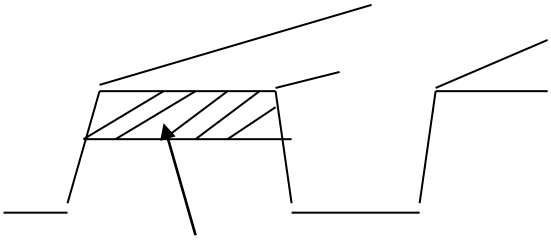
※肥料の粒は取り除いてください。

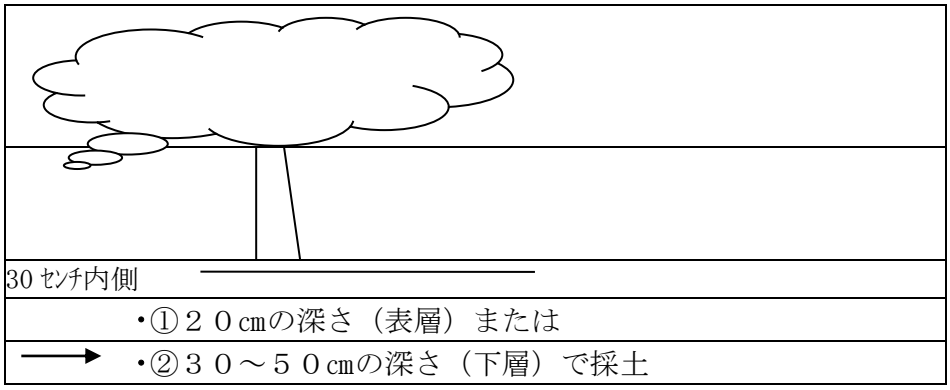
採土地点の目安

（１）水稲・露地作物の採土地点



（２）栽培途中の採土



表土 10～15 ｾﾝﾁ程度除いて採土

（３）果樹園の採土地点